

# 2017年度第2四半期決算 電話会議 資料

2017年11月17日（金）

立ちどまらない保険。



MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 全体目次

### 2017年度第2四半期決算の概要

グループ連結	資料1-6
国内損害保険会社	資料7-11
国内生命保険会社	資料12-13
海外保険子会社	資料14

### 2017年度第2四半期決算データ

三井住友海上（単体）	資料15-18
あいおいニッセイ同和損保（単体）	資料19-22
三井住友海上 + あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）	資料23-26
三井ダイレクト損保	資料27
（参考）MS Amlin 2017年度第2四半期(2017年1-6月期)業績	資料28

### 2017年度業績予想

グループ連結	資料29-35
今回業績予想の主な前提	資料36
三井住友海上（単体）、あいおいニッセイ同和損保（単体）	資料37-42
三井住友海上 + あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）	資料43-45
三井ダイレクト損保、国内生保子会社	資料46-48

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

この資料では、社名表示に次の略称を使用している箇所があります。

- ・ MS & ADホールディングス (＝MS & ADインシュアランス グループ ホールディングス(株))
- ・ 三井住友海上、MS (＝三井住友海上火災保険(株))
- ・ あいおいニッセイ同和損保、AD (＝あいおいニッセイ同和損害保険(株))
- ・ 三井ダイレクト損保、MD (＝三井ダイレクト損害保険(株))
- ・ 三井住友海上あいおい生命、MSA生命 (＝三井住友海上あいおい生命保険(株))
- ・ 三井住友海上プライマリー生命、MSP生命 (＝三井住友海上プライマリー生命保険(株))

## 2017年度第2四半期決算の概要

## 資料1 グループ連結（2017年度第2四半期）①業績の概要 1

- 正味収入保険料は、海外保険子会社は減収となったものの、国内損保の火災保険や自賠責保険などの増収により、前年同期比 1.3%増収の1兆8,641億円
- 国内生保子会社のグロス収入保険料は、MSP生命の変額保険の減収を主因に、前年同期比 △6.2%減収の7,253億円

### 損保子会社

(億円)

	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	2017年度	
			前年同期比	増収率
元受正味保険料(除く収入積立保険料)※	18,447	<b>18,874</b>	426	2.3%
正味収入保険料※	18,393	<b>18,641</b>	247	1.3%
三井住友海上	7,566	<b>7,816</b>	250	3.3%
あいおいニッセイ同和損保	6,094	<b>6,301</b>	207	3.4%
三井ダイレクト損保	186	<b>186</b>	0	0.5%
海外保険子会社	4,514	<b>4,307</b>	△ 206	△ 4.6%

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

### 生保子会社

(億円)

	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	2017年度	
			前年同期比	増収率
保険料(グロス収入保険料)※	7,737	<b>7,253</b>	△ 483	△ 6.2%
三井住友海上あいおい生命	2,357	<b>2,427</b>	70	3.0%
三井住友海上プライマリー生命	5,379	<b>4,826</b>	△ 553	△ 10.3%
生命保険料	6,610	<b>5,111</b>	△ 1,499	△ 22.7%

※ 保険料(グロス収入保険料)は国内生保子会社のみ

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

MS&ADホールディングス広報・IR部長の塩野でございます。

本日は、お忙しい中、弊社の決算電話会議にご参加いただき、ありがとうございます。

それでは、「2017年度第2四半期決算 電話会議 資料」と題したスライドの1ページ目、「資料1」をご覧ください。

まず、グループのトップラインの状況について説明いたします。

正味収入保険料は、+1.3%増収の1兆8,641億円となり、上期で過去最高を更新しました。これは、海外保険子会社が為替影響を主因に減収したものの、国内損保で、火災保険や自賠責保険を中心に増収したことが要因です。

生命保険子会社のグロス収入保険料は、MSP生命の変額保険の減収を主因に、△6.2%減収の7,253億円となりました。

## 資料2 グループ連結（2017年度第2四半期）①業績の概要 2

- ・ 経常利益は、北米ハリケーン等の自然災害の影響を受けたADおよび海外保険子会社の減益により、前年同期比△12.9%減益の1,315億円
- ・ 中間純利益は、前年同期比 △23.0%減益の757億円

(億円)

	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	2017年度	
			前年同期比	増減率
経常利益	1,510	<b>1,315</b>	△ 194	△ 12.9%
三井住友海上	933	<b>1,313</b>	380	40.7%
あいおいニッセイ同和損保	495	<b>224</b>	△ 270	△ 54.7%
三井ダイレクト損保	1	<b>12</b>	10	550.2%
三井住友海上あいおい生命	87	<b>88</b>	1	1.3%
三井住友海上プライマリー生命	14	<b>365</b>	350	2,358.6%
海外保険子会社	219	<b>△ 434</b>	△ 654	△ 298.5%
その他・連結調整等	△ 241	<b>△ 254</b>	△ 12	-
中間純利益 ※	984	<b>757</b>	△ 226	△ 23.0%
三井住友海上	693	<b>988</b>	295	42.6%
あいおいニッセイ同和損保	335	<b>137</b>	△ 197	△ 58.9%
三井ダイレクト損保	0	<b>10</b>	10	1,553.2%
三井住友海上あいおい生命	42	<b>41</b>	△ 1	△ 2.4%
三井住友海上プライマリー生命	117	<b>177</b>	59	50.2%
海外保険子会社	130	<b>△ 381</b>	△ 512	△ 391.5%
その他・連結調整等	△ 336	<b>△ 216</b>	119	-

※ 連結の中間純利益は、親会社株主に帰属する中間純利益を記載。子会社の中間純利益は、出資持分ベース。以下同じ。

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

次に、「資料2」をご覧ください。

グループのボトムラインの状況について説明いたします。

経常利益は、北米ハリケーンやメキシコ地震による損害の影響が大きく、前年同期比 △12.9%減益の1,315億円となりました。

中間純利益につきましても、△23.0%減益の、757億円となりました。詳細につきましては、後ほど、ご説明いたします。

## 資料3 グループ連結（2017年度第2四半期）②グループコア利益

- ・グループコア利益は、海外事業の大幅な減益を主因に、前年同期比 △532億円減益の 581億円
- ・国内損保の公表コンバインドレシオは、前年同期比 △3.2pt低下の 85.0%

(億円)

	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	前年同期比
グループコア利益 ※1	1,114	581	△ 532
国内損保事業	729	951	221
国内生保事業	159	218	59
海外事業	213	△ 611	△ 825
金融サービス事業/リスク関連事業	11	22	11
その他経営数値目標			
コンバインド・レシオ(国内損保)※2	88.2%	85.0%	△ 3.2pt
MSA生命EV増加額	△ 211	363	575
グループROE ※1,3			

※1 「グループコア利益」、「グループROE」の定義は最終ページご参照

※2 「コンバインド・レシオ(国内損保)」は、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保、三井ダイレクト損保の合計

※3 「グループROE」は年度末に開示

(参考)

$$\begin{array}{c} \text{グループ} \\ \text{コア利益} \\ 581 \end{array} = \begin{array}{c} \text{連結} \\ \text{中間} \\ \text{純利益} \\ 757 \end{array} - \begin{array}{c} \text{株式} \\ \text{キャピタル} \\ \text{損益} \\ 338 \end{array} - \begin{array}{c} \text{クレジット} \\ \text{デリバティブ} \\ \text{評価損益} \\ \Delta 0 \end{array} - \begin{array}{c} \text{その他} \\ \text{特殊} \\ \text{要因}^{\ast 4} \\ \Delta 162 \end{array} + \begin{array}{c} \text{非連結} \\ \text{グループ会社} \\ \text{持分利益} \\ \Delta 0 \end{array}$$

※4 のれん償却等△139、特別損益(除く価格変動準備金)△23

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

次に「資料3」をご覧ください。

グループコア利益は、海外事業で大幅な減益となったことを主因に、△532億円減益の581億円となりました。

中間純利益からの主な調整は、スライド下段に記載のとおりです。

## 資料4 グループ連結（2017年度第2四半期）③北米ハリケーン等の損害額

・第2四半期決算に織り込んだ北米ハリケーン等によるインカードロスは、874億円

### 北米ハリケーン等のインカードロス

(億円)

	インカードロス					合計	(税後影響)
	ハービー	イルマ	マリア	メキシコ地震			
三井住友海上	9	1	—	—	10	7	
あいおいニッセイ同和損保	56	136	88	5	286	206	
海外子会社	147	251	136	42	577	519	
（うちMS Amlin）	144	248	136	42	572	515	
合 計	212	389	225	47	874*	732	

※10月6日にリリースした「北米ハリケーン等による損害発生状況についてのお知らせ」において、約700億円から1,100億円としていたものに対応する金額

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

次に、「資料4」をご覧ください。

第2四半期決算に反映された北米ハリケーン等によるインカードロスは、874億円です。これは、先の10月6日に、北米ハリケーン等による損害発生状況としてリリースした、約700億円から1,100億円の見込み額に対応する金額です。

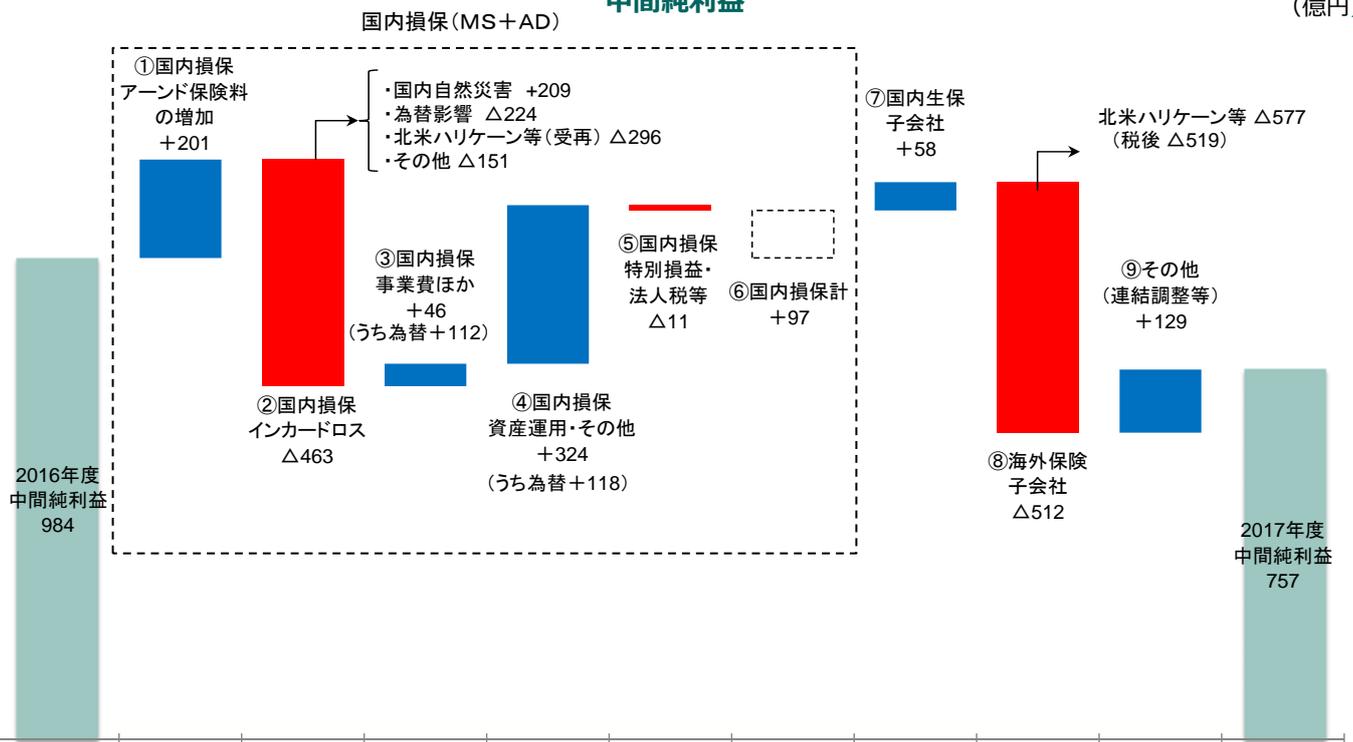
また、引受会社別では、MSアムリンが572億円、ADの海外受再で286億円となっております。

## 資料5 グループ連結（2017年度第2四半期）④前年同期との比較 1

- ・減益の主因は、②と⑧に含まれる北米ハリケーン等の影響
- ・一方、国内損保における①アード保険料の増加、②国内自然災害のインカードロスの減少、④資産運用・その他、⑦国内生保子会社は、プラスに寄与した。
- ・⑨連結調整等のプラスは、前期に「第三分野保有契約移行に係るシステム関連費」が発生したことが主因

### 中間純利益

(億円)



MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

次に、「資料5」をご覧ください。

グラフを使って、2017年度中間純利益の対前年変動要因を説明します。  
 なお、「資料6」に内訳の数値を記載しておりますので、併せてご参照ください。

前年同期比 △226億円減益の主因は、②番の「国内損保のインカードロス」および⑧番の「海外保険子会社」に含まれている、北米ハリケーン等の損害の影響です。

一方、プラス要因としては、②番の国内損保のインカードロスにおいて、国内自然災害が前期に比べ少なかったこと、④番の資産運用・その他において、政策株式の削減が順調に進んだことにより売却益が増加したことなどがあります。

⑨番の連結調整等は、前年同期に計上した、第三分野保有契約移行に関わるシステム関連費用がなくなったことを主な要因として、前年同期比 +129億円となっております。

## 資料6 グループ連結（2017年度第2四半期）④前年同期との比較 2

### 中間純利益の内訳

(億円)

	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	差額
中間純利益	<b>984</b>	<b>757</b>	<b>△ 226</b>
国内損保 <sup>※1</sup> 保険引受利益(除く家計地震・自賠責)	687	472	△ 215
アーンド保険料 ①	11,678	11,880	201
インカードロス(含む損害調査費) ②	△ 6,443	△ 6,907	△ 463
事業費ほか <sup>※2</sup> ③	△ 4,548	△ 4,501	46
資産運用・その他 ④	741	1,066	324
特別損益・法人税等 ⑤	△ 400	△ 412	△ 11
国内損保計 ⑥	1,028	1,126	97
国内生保子会社 ⑦	160	218	58
海外保険子会社 ⑧	130	△ 381	△ 512
連結調整等 ⑨	△ 335	△ 205	129

※1 国内損保は、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の金額の合計

※2 「事業費ほか」には、異常危険準備金、為替損益などが含まれる

(空白)

## 資料7 国内損害保険会社（2017年度第2四半期）①主要2社の業績概要 1

- ・ 正味収入保険料は、火災保険および自賠責保険の増収を主因に、2社合計で457億円増収の 1兆4,118億円
- ・ 保険引受利益は、2社合計で △215億円減益の 472億円

	三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和(単体)		2社合計(単純合計)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
	(億円)					
正味収入保険料	7,816	250	6,301	207	14,118	457
正味収入保険料 増収率	3.3%	8.9pt	3.4%	4.1pt	3.3%	6.8pt
正味支払保険金 (－)	3,814	△ 48	3,048	△ 108	6,863	△ 156
<インカードロス(含む損害調査費)> (－)	4,464	11	3,807	338	8,272	350
諸手数料及び集金費 (－)	1,331	45	1,213	77	2,545	122
営業費及び一般管理費(保険引受) (－)	1,000	19	836	△ 35	1,836	△ 16
異常危険準備金反映前保険引受利益	761	41	214	△ 269	976	△ 228
異常危険準備金取崩額(△は繰入)	△ 274	26	△ 230	△ 13	△ 504	13
<b>保険引受利益</b>	<b>487</b>	<b>68</b>	<b>△ 15</b>	<b>△ 283</b>	<b>472</b>	<b>△ 215</b>
諸比率						
正味損害率	54.4%	△ 2.4pt	53.2%	△ 3.5pt	53.8%	△ 2.9pt
正味事業費率	29.8%	△ 0.2pt	32.5%	△ 0.5pt	31.0%	△ 0.3pt
<b>コンバインド・レシオ</b>	<b>84.2%</b>	<b>△ 2.6pt</b>	<b>85.7%</b>	<b>△ 4.0pt</b>	<b>84.8%</b>	<b>△ 3.2pt</b>
<除く家計地震・自賠責>						
正味損害率	51.3%	△ 1.2pt	50.0%	△ 2.3pt	50.7%	△ 1.7pt
正味事業費率	31.6%	△ 0.2pt	34.2%	△ 0.4pt	32.7%	△ 0.3pt
<b>コンバインド・レシオ</b>	<b>82.9%</b>	<b>△ 1.4pt</b>	<b>84.2%</b>	<b>△ 2.7pt</b>	<b>83.4%</b>	<b>△ 2.0pt</b>

※自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

次に、国内損保主要2社の状況について説明いたします。

「資料7」の右端の、2社合計をご参照下さい。

まず正味収入保険料は、火災保険や自賠責保険などで増収した結果、457億円増収の、1兆4,118億円となりました。

保険引受利益は、北米ハリケーン等の影響により、△215億円減益の 472億円となりました。

## 資料8 国内損害保険会社（2017年度第2四半期）①主要2社の業績概要 2

- ・資産運用・その他収支は、有価証券売却益の増加を主因に、前年同期比 324億円増加の 1,066億円
- ・中間純利益は、前年同期比 97億円増益の 1,126億円
- ・政策株式は、2社合計で 805億円を売却

(億円)

	三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和(単体)		2社合計(単純合計)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
<b>保険引受利益</b>	<b>487</b>	<b>68</b>	<b>△ 15</b>	<b>△ 283</b>	<b>472</b>	<b>△ 215</b>
ネット利息及び配当金収入	395	45	206	31	602	76
有価証券売却損益	449	152	67	△ 6	516	145
有価証券評価損 (－)	9	8	2	△ 5	12	3
<b>資産運用・その他収支</b>	<b>826</b>	<b>311</b>	<b>239</b>	<b>12</b>	<b>1,066</b>	<b>324</b>
<b>経常利益</b>	<b>1,313</b>	<b>380</b>	<b>224</b>	<b>△ 270</b>	<b>1,538</b>	<b>109</b>
特別損益	△ 21	4	△ 54	8	△ 76	13
<b>税引前中間純利益</b>	<b>1,291</b>	<b>384</b>	<b>169</b>	<b>△ 262</b>	<b>1,461</b>	<b>122</b>
<b>中間純利益</b>	<b>988</b>	<b>295</b>	<b>137</b>	<b>△ 197</b>	<b>1,126</b>	<b>97</b>
	2社合計					
		前年同期比				
(参考)政策株式売却額	805	99				

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

次に、「資料8」をご覧ください。

「資産運用・その他収支」については、有価証券の売却益やネット利配収入の増加、などから、前年同期比 324億円増加の、1,066億円となりました。

以上の結果、経常利益は、前年同期比 +109億円増益の 1,538億円、中間純利益は +97億円増益の 1,126億円となりました。

当中間期末での政策株式の売却額については、2社合計で、805億円となっております。

## 資料9 国内損害保険会社（2017年度第2四半期）②自然災害に係る影響

・自然災害に係るインカードロスは、2社合計で、熊本地震のあった前年同期から△209億円減少の248億円

### 自然災害の影響

	インカードロス		支払保険金		支払備金繰入額	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
当年度発生国内自然災害 ※						
三井住友海上	154	△ 145	44	△ 25	109	△ 120
あいおいニッセイ同和損保	94	△ 63	27	△ 21	66	△ 42
合 計	248	△ 209	71	△ 46	176	△ 162

※ 前年同期の熊本地震に係るインカードロス(除く家計地震)は 133億円(MS 96億円、AD 36億円)

次に、当期の自然災害の影響を説明いたします。「資料9」をご覧ください。

一番下の行の左端にあるとおり、2社合算のインカードロスは、熊本地震のあった前年同期に比べ、△209億円減少の、248億円となりました。

## 資料10 国内損害保険会社（2017年度第2四半期）③異常危険準備金

- ・異常危険準備金のネット繰入額は、2社合計で前期並みの504億円
- ・三井住友海上では火災保険の繰入率を9%から5%に変更

### 異常危険準備金

(億円)

	取崩額	繰入額	ネット繰入額		残高	
				前年同期比		
三井住友海上	火災	-	52	52	△ 32	1,513
	海上	-	14	14	0	795
	傷害	-	24	24	0	701
	自動車	-	107	107	1	697
	その他	0	75	75	3	1,855
	合計	0	274	274	△ 26	5,562
あいおいニッセイ 同和損保	火災	-	74	74	12	1,340
	海上	-	0	0	0	139
	傷害	-	10	10	△ 0	661
	自動車	-	111	111	0	550
	その他	0	33	33	0	675
	合計	0	230	230	13	3,367
2社合計 (単純合計)	火災	-	127	127	△ 19	2,853
	海上	-	14	14	0	935
	傷害	-	34	34	0	1,363
	自動車	-	218	218	1	1,247
	その他	0	109	109	3	2,530
	合計	0	504	504	△ 13	8,930

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

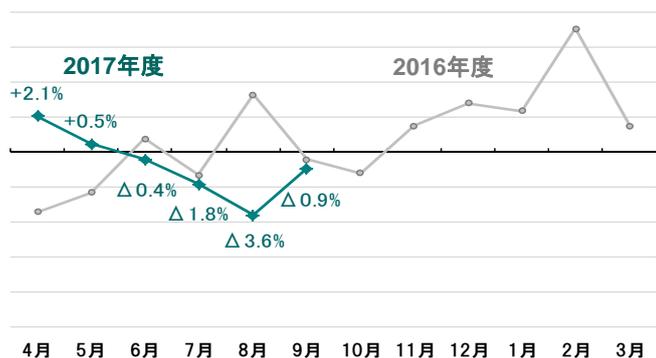
次に、「資料10」をご覧ください。異常危険準備金の状況を説明いたします。

一番下の行にある、全種目合計の異常危険準備金のネット繰入額は、ほぼ前年同期並みの504億円となりました。

# 資料11 国内損害保険会社（2017年度第2四半期）④自動車保険の状況

- ・ 事故件数は、9月末累計で前年比△0.9%の低下。修理費等の上昇等により、対物・車両の保険金単価は引き続き上昇
- ・ EI損害率は、インカードロスの増加により、前年同期比1.3pt上昇の57.6%

**事故件数の推移（国内、1日あたり、対前年同月。除く自然災害）**  
（MS・AD 2社単純合算ベース）



**EI 損害率の推移（含む損害調査費）**  
（MS・AD 2社単純合算ベース）



## 保険料・保険金

三井住友海上

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	△ 0.1%	+0.7%	+0.8%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+0.7%	+0.3%	

あいおいニッセイ同和損保

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+1.3%	△ 1.3%	△ 0.1%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+1.1%	△ 0.0%	

※ 保険料増減要因の諸数値は営業成績ベース（4-9月）の対前年同期比

※ 保険金単価の増減は、2017年3月末過去1年間の保険金単価に対する、2017年9月末過去1年間の保険金単価の増減を表示

※ EI損害率算出対象期間は、各年度の4-9月

※ ADの車両保険付帯契約の代車特約の「故障」事案を、事故受付件数から除く対応が可能となったため、2017年1月～2017年6月の2社合算事故件数を修正

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

次に「資料11」をご覧ください。自動車保険の状況を説明いたします。

上段左の折れ線グラフは、2社合算の自動車保険の事故件数の、前年同月比増減を示しています。

事故件数の前年同月比増減の推移は、減少傾向となっており、9月末累計では0.9%の減少となっております。

また、スライド下段の保険金単価ですが、修理費等の上昇により対物および車両の保険金単価が上昇しており、引き続き注視が必要と考えております。

2社合算のEI損害率は、上段右のグラフの通り前年同期比 1.3ポイント上昇し、57.6%となりました。

## 資料12 国内生命保険会社（三井住友海上あいおい生命） 業績概要

- ・新契約高は、新商品を発売した収入保障保険の大幅な増加を主因に、前年同期比 29.8%増加の1兆4,144億円
- ・新契約年換算保険料（第三分野）は、前年同期比 △10.9%減少の68億円
- ・中間純利益は、前年同期比 △1億円減益の41億円

### 三井住友海上あいおい生命

(億円)

	2016年度 第2四半期		2017年度 第2四半期		増減率
			前年同期比		
新契約高（個人合計）	10,894	<b>14,144</b>	3,249	29.8%	
新契約年換算保険料	231	<b>199</b>	△ 31	△ 13.8%	
うち 第三分野	77	<b>68</b>	△ 8	△ 10.9%	
保有契約高（個人合計）	(期首) 232,142	<b>235,726</b>	(期首比) 3,583	1.5%	
保有契約年換算保険料	(期首) 4,010	<b>4,072</b>	(期首比) 61	1.5%	
うち 第三分野	(期首) 884	<b>926</b>	(期首比) 41	4.7%	
保険料(グロス収入保険料)	2,357	<b>2,427</b>	70	3.0%	
経常利益	87	<b>88</b>	1	1.3%	
特別損益	△ 3	<b>△ 4</b>	△ 0	—	
中間純利益	42	<b>41</b>	△ 1	△ 2.4%	
基礎利益	101	<b>78</b>	△ 22	△ 22.0%	
EEV	(期首) 7,942	<b>8,305</b>	(期首比) 363		

※ 第2四半期のEEVは、一部簡易な計算による試算値です。また、第三者機関の検証は受けておりません。

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

次にMSA生命の状況について説明します。「資料12」をご覧ください。

新契約高は、新商品を発売した収入保障保険の大幅な増加を主因に、前年同期比 +29.8%増加の、1兆4,144億円となりました。  
中間純利益は、ほぼ前期並みの、41億円となりました。

## 資料13 国内生命保険会社（三井住友海上プライマリー生命） 業績概要

- ・ グロス収入保険料は、変額保険の減少を主因に、前年同期比  $\Delta 10.3\%$ 減収の 4,826億円
- ・ 中間純利益は、前年同期比 59億円増益の 117億円

### 三井住友海上プライマリー生命

(億円)

	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	前年同期比	
			前年同期比	増減率
新契約高（個人合計）	5,208	<b>4,831</b>	$\Delta 376$	$\Delta 7.2\%$
保有契約高（個人合計）	(期首) 56,807	<b>60,958</b>	(期首比) 4,150	7.3%
保険料(グロス収入保険料)	5,379	<b>4,826</b>	$\Delta 553$	$\Delta 10.3\%$
経常利益	14	<b>365</b>	350	2,358.6%
特別損益	147	$\Delta 119$	$\Delta 267$	$\Delta 181.1\%$
中間純利益	117	<b>177</b>	59	50.2%

### 金利・為替影響と価格変動準備金

(億円)

金利影響	$\Delta 128$	<b>39</b>
為替影響	$\Delta 115$	<b>57</b>
小計	$\Delta 243$	<b>96</b>
売却益	85	<b>9</b>
合計	$\Delta 157$	<b>105</b>
上記に対応する 価格変動準備金取崩( $\Delta$ は繰入)	157	<b><math>\Delta 105</math></b>

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

続いてMSP生命の業績を説明いたします。「資料13」をご覧ください。

グロス収入保険料は、変額保険の販売が減少したことを主因に、 $\Delta 10.3\%$ 減収の、4,826億円となりました。

経常利益は、金利、為替の影響による責任準備金の繰入負担が減少したことを主因に350億円の増益となりました。

中間純利益は、価格変動準備金への繰入を104億円行いましたが、保有資産の増加に伴う利配収入の増加などが寄与し、59億円増益の177億円となりました。

## 資料14 海外保険子会社（2017年度第2四半期）業績概要

- ・ 正味収入保険料は、為替影響等により△4.6%減収の4,307億円
- ・ 中間純利益は、北米ハリケーン等の損害519億円（税前577億円）の影響などにより、△512億円減益の△381億円

### 海外保険子会社

(億円)

	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	前年同期比	
			前年同期比	増減率
正味収入保険料	4,514	<b>4,307</b>	△ 206	△ 4.6%
アジア	812	<b>813</b>	0	0.1%
欧州	3,463	<b>3,235</b>	△ 228	△ 6.6%
(うちMS Amlin <sup>※</sup> )	3,227	<b>2,985</b>	△ 242	△ 7.5%
米州	238	<b>259</b>	20	8.7%
中間純利益	130	<b>△ 381</b>	△ 512	△ 391.5%
アジア	83	<b>89</b>	5	6.3%
欧州	36	<b>△ 477</b>	△ 514	△ 1,394.2%
(うちMS Amlin <sup>※</sup> )	60	<b>△ 465</b>	△ 526	△ 867.0%
米州	10	<b>7</b>	△ 3	△ 31.2%

※ 2016年度末にMS Amlinにロイズ・再保険事業を統合しているため、前年同期業績にはMS Amlinに統合された子会社の業績を含めて表示

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

次に海外保険子会社の状況について説明いたします。「資料14」をご覧ください。

正味収入保険料は、為替影響等により、△4.6%の減収の4,307億円となりました。

中間純利益は、MSアムリンにおいて、北米ハリケーン等の損害があったことを主因に、△512億円の減益のマイナス381億円となっております。

次のパートの「資料15」から「資料27」まで、MSとADそれぞれの単体、および2社単体の単純合算の業績を付けております。

また、参考資料として、「資料28」にMSアムリンの第2四半期末の業績を、付けておりますので、後ほどご覧ください。

## 2017年度第2四半期決算 データ

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

### 資料15 三井住友海上（単体）2017年度第2四半期業績①

(億円)

	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	前年同期比	
			増減	ポイント
正味収入保険料	7,566	<b>7,816</b>	250	
正味収入保険料 増収率	△5.6%	<b>3.3%</b>	8.9pt	
正味損害率	56.8%	<b>54.4%</b>	△2.4pt	
正味事業費率	30.0%	<b>29.8%</b>	△0.2pt	
コンバインド・レシオ	86.8%	<b>84.2%</b>	△2.6pt	
インカードロス(含む損害調査費)	4,453	<b>4,464</b>	11	
保険引受利益	419	<b>487</b>	68	
資産運用損益	528	<b>838</b>	310	
経常利益	933	<b>1,313</b>	380	
特別損益	△ 26	<b>△ 21</b>	4	
中間純利益	693	<b>988</b>	295	
〈除く家計地震・自賠償〉				
正味収入保険料 増収率	△6.0%	<b>3.0%</b>	9.0pt	
正味損害率	52.5%	<b>51.3%</b>	△1.2pt	
正味事業費率	31.8%	<b>31.6%</b>	△0.2pt	
コンバインド・レシオ	84.3%	<b>82.9%</b>	△1.4pt	
インカードロス(含む損害調査費)	3,659	<b>3,729</b>	70	

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース  
 ※「正味損害率」は“リターン・ペイド”ベース

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 資料16 三井住友海上（単体）2017年度第2四半期業績②

### 正味収入保険料

(億円)

	2016年度	2017年度	増収率
	第2四半期	第2四半期	
火災	942	<b>1,053</b>	11.7%
海上	312	<b>310</b>	△0.8%
傷害	752	<b>775</b>	3.1%
自動車	3,309	<b>3,345</b>	1.1%
自賠償	926	<b>979</b>	5.7%
その他	1,322	<b>1,353</b>	2.3%
合計	7,566	<b>7,816</b>	3.3%
除く家計地震・自賠償	6,635	<b>6,834</b>	3.0%

### 正味損害率

	2016年度	2017年度	前年同期比
	第2四半期	第2四半期	
火災	67.1%	<b>50.9%</b>	△16.2pt
海上	54.6%	<b>50.4%</b>	△4.2pt
傷害	51.6%	<b>48.8%</b>	△2.8pt
自動車	54.8%	<b>55.9%</b>	1.1pt
自賠償	81.3%	<b>76.2%</b>	△5.1pt
その他	40.9%	<b>41.5%</b>	0.6pt
合計	56.8%	<b>54.4%</b>	△2.4pt
除く家計地震・自賠償	52.5%	<b>51.3%</b>	△1.2pt

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 資料17 三井住友海上（単体）2017年度第2四半期業績③

### インカードロスとE I 損害率（含む損害調査費）

(億円)

	2016年度 第2四半期					2017年度 第2四半期					前年同期比
	インカードロス (a)	E I 損害率	自然災害 影響 (b)	(a)-(b)	E I 損害率 (除く自然災害 影響)	インカードロス (c)	E I 損害率	自然災害 影響 (d)	(c)-(d)	E I 損害率 (除く自然災害 影響)	
火災 (除く家計地震)	713	66.2%	272	440	40.9%	645	<b>58.0%</b>	141	504	<b>45.3%</b>	4.4pt
海上	166	53.5%	1	164	52.9%	206	<b>66.0%</b>	0	206	<b>65.8%</b>	12.9pt
傷害	372	54.9%	0	372	54.8%	370	<b>53.6%</b>	0	370	<b>53.6%</b>	△1.2pt
自動車	1,871	57.1%	11	1,860	56.8%	1,923	<b>57.8%</b>	14	1,908	<b>57.4%</b>	0.6pt
その他	534	45.6%	13	520	44.5%	583	<b>48.3%</b>	7	575	<b>47.6%</b>	3.1pt
合計(A)	3,659	56.2%	300	3,359	51.5%	3,729	<b>56.1%</b>	164	3,565	<b>53.6%</b>	2.1pt
家計地震(B)	59	/	59	-	/	-	/	-	-	/	/
自賠償(C)	734	/	-	734	/	735	/	-	735	/	/
合計(A)+(B)+(C)	4,453	/	359	4,093	/	4,464	/	164	4,300	/	/

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額

※E I 損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※合計(A)は除く家計地震、自賠償

※「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および北米ハリケーン等の金額

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 資料18 三井住友海上（単体）2017年度第2四半期業績④

### 社費・手数料

(億円)

	2017年度		前年同期比
	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	
保険引受社費	981	1,000	19
損害調査費	435	434	△0
その他	52	57	4
社費合計	1,469	1,492	22
人件費	855	851	△3
物件費	550	576	26
税金・拠出金等	64	64	0
諸手数料及び集金費	1,286	1,331	45

### 事業費率

	2017年度		前年同期比
	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	
正味手数料率	17.0%	17.0%	0.0pt
正味社費率	13.0%	12.8%	△0.2pt
正味事業費率	30.0%	29.8%	△0.2pt
除く家計地震・自賠責	31.8%	31.6%	△0.2pt

### 資産運用損益の概要

(億円)

	2017年度		前年同期比
	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	
利息及び配当金収入	536	565	29
積立保険料等運用益振替	△ 185	△ 169	16
ネット利息及び配当金収入	350	395	45
有価証券売却損益	296	449	152
有価証券評価損	△1	△9	△8
その他(含む投資経費)	△ 117	3	120
資産運用損益	528	838	310

### 利息及び配当金収入の主な内訳

(億円)

	2017年度		前年同期比
	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	
公社債	98	95	△2
株式	239	236	△2
外国証券	122	152	30
その他有価証券	12	22	10
貸付金等	64	58	△6
合計	536	565	29

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 資料19 あいおいニッセイ同和損保（単体）2017年度第2四半期業績①

(億円)

	2017年度		前年同期比
	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	
正味収入保険料	6,094	6,301	207
正味収入保険料 増収率	△0.7%	3.4%	4.1pt
正味損害率	56.7%	53.2%	△3.5pt
正味事業費率	33.0%	32.5%	△0.5pt
コンバインド・レシオ	89.7%	85.7%	△4.0pt
インカードロス(含む損害調査費)	3,468	3,807	338
保険引受利益	268	△15	△283
資産運用損益	196	225	28
経常利益	495	224	△270
特別損益	△ 62	△ 54	8
中間純利益	335	137	△197
〈除く家計地震・自賠責〉			
正味収入保険料 増収率	△0.0%	3.1%	3.1pt
正味損害率	52.3%	50.0%	△2.3pt
正味事業費率	34.6%	34.2%	△0.4pt
コンバインド・レシオ	86.9%	84.2%	△2.7pt
インカードロス(含む損害調査費)	2,784	3,177	393

※「正味損害率」は「リト・ペイド」ベース

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 資料20 あいおいニッセイ同和損保（単体）2017年度第2四半期業績②

### 正味収入保険料

(億円)

### 正味損害率

	2016年度	2017年度	増収率
	第2四半期	第2四半期	
火災	750	<b>909</b>	21.2%
海上	28	<b>45</b>	57.4%
傷害	326	<b>323</b>	△0.9%
自動車	3,456	<b>3,470</b>	0.4%
自賠責	839	<b>884</b>	5.4%
その他	693	<b>668</b>	△3.6%
合計	6,094	<b>6,301</b>	3.4%
除く家計地震・自賠責	5,252	<b>5,414</b>	3.1%

	2016年度	2017年度	前年同期比
	第2四半期	第2四半期	
火災	55.1%	<b>41.6%</b>	△13.5pt
海上	52.0%	<b>32.9%</b>	△19.1pt
傷害	46.2%	<b>45.2%</b>	△1.0pt
自動車	53.7%	<b>54.0%</b>	0.3pt
自賠責	78.8%	<b>72.6%</b>	△6.2pt
その他	51.2%	<b>44.3%</b>	△6.9pt
合計	56.7%	<b>53.2%</b>	△3.5pt
除く家計地震・自賠責	52.3%	<b>50.0%</b>	△2.3pt

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 資料21 あいおいニッセイ同和損保（単体）2017年度第2四半期業績③

### インカードロスとE I 損害率（含む損害調査費）

(億円)

	2016年度第2四半期					2017年度第2四半期					前年同期比
	インカードロス (a)	E I 損害率	自然災害影響 (b)	(a)-(b)	E I 損害率 (除く自然災害影響)	インカードロス (c)	E I 損害率	自然災害影響 (d)	(c)-(d)	E I 損害率 (除く自然災害影響)	
火災 (除く家計地震)	431	53.4%	139	292	36.2%	742	<b>84.2%</b>	362	379	<b>43.1%</b>	6.9pt
海上	10	36.0%	—	10	36.0%	26	<b>74.2%</b>	—	26	<b>74.2%</b>	38.2pt
傷害	143	47.7%	0	143	47.7%	150	<b>50.3%</b>	0	150	<b>50.3%</b>	2.6pt
自動車	1,878	55.4%	11	1,867	55.1%	1,954	<b>57.4%</b>	13	1,941	<b>57.0%</b>	1.9pt
その他	319	50.3%	6	312	49.3%	303	<b>50.2%</b>	5	298	<b>49.3%</b>	0.0pt
合計(A)	2,784	53.9%	157	2,626	50.9%	3,177	<b>60.8%</b>	380	2,796	<b>53.5%</b>	2.6pt
家計地震(B)	43		43	—		—		—	—		
自賠責(C)	641		—	641		629		—	629		
合計(A)+(B)+(C)	3,468		200	3,267		3,807		380	3,426		

※インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額

※E I 損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料、保険料積立金等を調整して算出

※合計(A)は除く家計地震、自賠責

※「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および北米ハリケーン等の金額

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 資料22 あいおいニッセイ同和損保（単体） 2017年度第2四半期業績④

### 社費・手数料

(億円)

	2016年度	2017年度	前年同期比
	第2四半期	第2四半期	
保険引受社費	871	836	△35
損害調査費	295	302	6
その他	41	51	10
社費合計	1,209	1,190	△18
人件費	618	640	21
物件費	535	494	△40
税金・拠出金等	55	56	0
諸手数料及び集金費	1,136	1,213	77

### 事業費率

	2016年度	2017年度	前年同期比
	第2四半期	第2四半期	
正味手数料率	18.6%	19.3%	0.6pt
正味社費率	14.3%	13.3%	△1.0pt
正味事業費率	33.0%	32.5%	△0.5pt
除く家計地震・自賠責	34.6%	34.2%	△0.4pt

### 資産運用損益の概要

(億円)

	2016年度	2017年度	前年同期比
	第2四半期	第2四半期	
利息及び配当金収入	269	291	21
積立保険料等運用益振替	△ 93	△ 84	9
ネット利息及び配当金収入	175	206	31
有価証券売却損益	74	67	△6
有価証券評価損	△7	△2	5
その他(含む投資経費)	△ 45	△ 46	△0
資産運用損益	196	225	28

### 利息及び配当金収入の主な内訳

(億円)

	2016年度	2017年度	前年同期比
	第2四半期	第2四半期	
公社債	49	50	0
株式	97	104	6
外国証券	68	85	16
その他有価証券	15	11	△3
貸付金等	38	39	1
合計	269	291	21

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 資料23 三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）①

(億円)

	2016年度	2017年度	前年同期比
	第2四半期	第2四半期	
正味収入保険料	13,660	14,118	457
正味収入保険料 増収率	△3.5%	3.3%	6.8pt
正味損害率	56.7%	53.8%	△2.9pt
正味事業費率	31.3%	31.0%	△0.3pt
コンバインド・レシオ	88.0%	84.8%	△3.2pt
インカードロス(含む損害調査費)	7,921	8,272	350
保険引受利益	687	472	△215
資産運用損益	725	1,063	338
経常利益	1,428	1,538	109
特別損益	△ 89	△ 76	13
中間純利益	1,028	1,126	97
〈除く家計地震・自賠責〉			
正味収入保険料 増収率	△3.4%	3.0%	6.4pt
正味損害率	52.4%	50.7%	△1.7pt
正味事業費率	33.0%	32.7%	△0.3pt
コンバインド・レシオ	85.4%	83.4%	△2.0pt
インカードロス(含む損害調査費)	6,443	6,907	463

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース  
 ※「正味損害率」は「リト・ペイド」ベース

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 資料24 三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）②

### 正味収入保険料

(億円)

### 正味損害率

	2016年度	2017年度	増収率
	第2四半期	第2四半期	
火災	1,692	<b>1,962</b>	15.9%
海上	341	<b>355</b>	4.1%
傷害	1,079	<b>1,099</b>	1.9%
自動車	6,765	<b>6,815</b>	0.7%
自賠責	1,765	<b>1,863</b>	5.6%
その他	2,016	<b>2,021</b>	0.3%
合計	13,660	<b>14,118</b>	3.3%
除く家計地震・自賠責	11,888	<b>12,249</b>	3.0%

	2016年度	2017年度	前年同期比
	第2四半期	第2四半期	
火災	61.8%	<b>46.6%</b>	△15.2pt
海上	54.3%	<b>48.1%</b>	△6.2pt
傷害	49.9%	<b>47.8%</b>	△2.1pt
自動車	54.3%	<b>54.9%</b>	0.6pt
自賠責	80.1%	<b>74.5%</b>	△5.6pt
その他	44.4%	<b>42.5%</b>	△1.9pt
合計	56.7%	<b>53.8%</b>	△2.9pt
除く家計地震・自賠責	52.4%	<b>50.7%</b>	△1.7pt

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 資料25 三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）③

### インカードロスとE I 損害率（含む損害調査費）

(億円)

	2016年度第2四半期					2017年度第2四半期					前年同期比
	インカードロス (a)	E I 損害率	自然災害影響 (b)	(a)-(b)	E I 損害率 (除く自然災害影響)	インカードロス (c)	E I 損害率	自然災害影響 (d)	(c)-(d)	E I 損害率 (除く自然災害影響)	
火災 (除く家計地震)	1,144	60.7%	412	732	38.9%	1,388	<b>69.6%</b>	503	884	<b>44.3%</b>	5.4pt
海上	177	51.9%	1	175	51.4%	233	<b>66.8%</b>	0	232	<b>66.6%</b>	15.2pt
傷害	516	52.7%	0	516	52.7%	520	<b>52.6%</b>	0	520	<b>52.6%</b>	△0.1pt
自動車	3,750	56.3%	23	3,727	55.9%	3,877	<b>57.6%</b>	28	3,849	<b>57.2%</b>	1.3pt
その他	854	47.3%	20	833	46.1%	887	<b>48.9%</b>	12	874	<b>48.2%</b>	2.1pt
合計(A)	6,443	55.2%	457	5,985	51.3%	6,907	<b>58.1%</b>	545	6,362	<b>53.6%</b>	2.3pt
家計地震(B)	102		102	-		-		-	-		
自賠責(C)	1,375			1,375		1,364		-	1,364		
合計(A)+(B)+(C)	7,921		560	7,361		8,272		545	7,726		

※インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額

※E I 損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料、保険料積立金を調整して算出

※合計(A)は除く家計地震、自賠責

※「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および北米ハリケーン等の金額

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 資料26 三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）④

### 社費・手数料

(億円)

	2016年度	2017年度	前年同期比
	第2四半期	第2四半期	
保険引受社費	1,853	1,836	△16
損害調査費	731	737	5
その他	94	108	14
社費合計	2,678	2,682	4
人件費	1,473	1,491	17
物件費	1,085	1,070	△14
税金・拠出金等	119	120	0
諸手数料及び集金費	2,422	2,545	122

### 事業費率

	2016年度	2017年度	前年同期比
	第2四半期	第2四半期	
正味手数料率	17.7%	18.0%	0.3pt
正味社費率	13.6%	13.0%	△0.6pt
正味事業費率	31.3%	31.0%	△0.3pt
除く家計地震・自賠責	33.0%	32.7%	△0.3pt

### 資産運用損益の概要

(億円)

	2016年度	2017年度	前年同期比
	第2四半期	第2四半期	
利息及び配当金収入	806	856	50
積立保険料等運用益振替	△ 279	△ 253	25
ネット利息及び配当金収入	526	602	76
有価証券売却損益	370	516	145
有価証券評価損	△ 8	△ 12	△3
その他(含む投資経費)	△163	△43	120
資産運用損益	725	1,063	338

### 利息及び配当金収入の主な内訳

(億円)

	2016年度	2017年度	前年同期比
	第2四半期	第2四半期	
公社債	147	145	△1
株式	337	341	4
外国証券	190	238	47
その他有価証券	28	34	6
貸付金等	102	97	△5
合計	806	856	50

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 資料27 国内損害保険会社（三井ダイレクト）業績概要

### 主要項目

(億円)

	2016年度	2017年度第2四半期	
	第2四半期		前年同期比
正味収入保険料	186	186	0
正味収入保険料 増収率	2.4%	0.5%	△1.9pt
正味損害率	74.7%	71.1%	△3.6pt
正味事業費率	23.1%	23.2%	0.1pt
コンバインド・レシオ	97.8%	94.3%	△3.5pt
インカードロス(含む損害調査費)	144	137	△6
保険引受利益	1	12	10
資産運用損益(含む投資経費)	0	0	△0
経常利益	1	12	10
特別損益	△0	△0	0
中間純利益(当社持分)	0	10	10

※「正味損害率」は「リターン・ペイド」ベース

### インカードロス（除く家計地震・自賠責）

(億円)

	2016年度	2017年度第2四半期	
	第2四半期		前年同期比
インカードロス(含む損害調査費)※ <sup>1</sup>	142	135	△6
自然災害※ <sup>2</sup>	0	1	0
自然災害以外	141	134	△7

※<sup>1</sup> インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額

※<sup>2</sup> 「自然災害」は、当年度発生国内自然災害をいう。

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

(百万ポンド)

	2016年度※2 第2四半期	2017年度 第2四半期	前年同期比
正味収入保険料	2,030	2,097	66
正味経過保険料	1,327	1,401	73
インカードロス(含む損害調査費)	796	1,348	551
手数料・社費	501	532	30
保険引受利益	69	△489	△559
資産運用損益※3	44	148	104
その他損益※4	△43	△43	0
中間純利益	38	△324	△362
E/I 損害率	60%	96%	36pt
E/I 事業費率※5	35%	39%	4pt
E/I コンバインド・レシオ※5	95%	135%	40pt

※1 2017年8月から9月にかけて損害が発生した北米ハリケーン(ハービー・イルマ・マリア)及びメキシコ地震にかかるインカードロス(398百万ポンド)を追込み計上

※2 2016年度末にMS Amlinにロイズ・再保険事業を統合しているため、前年同期業績にはMS Amlinに統合された子会社の業績を含めて表示

※3 MS Amlinは有価証券の時価変動を損益に反映させる会計処理方法を採用

※4 その他損益の主な項目は保険事業会社以外で生じる経費等

※5 E/I 事業費率及びE/I コンバインド・レシオは、現地管理に合わせて保険引受利益に含まれる為替差損益を入れて算出

## 2017年度業績予想

## 損保子会社

(億円)

	2016年度	2017年度 (年初予想)	2017年度(今回予想)			
			前期比	増収率	年初予想比	
正味収入保険料 <sup>※</sup>	34,069	34,500	<b>34,500</b>	430	1.3%	-
三井住友海上	14,696	14,880	<b>14,930</b>	233	1.6%	50
あいおいニッセイ同和損保	12,005	12,190	<b>12,220</b>	214	1.8%	30
三井ダイレクト損保	376	388	<b>380</b>	3	1.0%	△ 8
海外保険子会社	6,931	7,000	<b>6,920</b>	△ 11	△ 0.2%	△ 80

※ 正味収入保険料は、自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

## 生保子会社

(億円)

	2016年度	2017年度 (年初予想)	2017年度(今回予想)			
			前期比	増収率	年初予想比	
保険料(グロス収入保険料) <sup>※</sup>	15,500	12,943	<b>13,910</b>	△ 1,590	△ 10.3%	967
三井住友海上あいおい生命	4,789	4,943	<b>4,910</b>	120	2.5%	△ 33
三井住友海上プライマリー生命	10,711	8,000	<b>9,000</b>	△ 1,711	△ 16.0%	1,000
生命保険料	12,531	9,490	<b>10,000</b>	△ 2,531	△ 20.2%	510

※ 保険料(グロス収入保険料)は国内生保子会社のみ

次に、2017年度の連結業績予想についてご説明いたします。  
「資料29」をご覧ください。

グループ連結の正味収入保険料は、年初予想と同じ 3兆4,500億円、前期比で430億円の増収、増収率は、1.3%を見込んでおります。

また、生命保険料は、上期の販売好調を反映し、  
年初予想からは 510億円増収の 1兆円見込んでおります。

(億円)

	2016年度	2017年度 (年初予想)	2017年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
経常利益	3,526	3,450	<b>2,380</b>	△ 1,146	△ 1,070
三井住友海上	2,155	2,250	<b>2,300</b>	144	50
あいおいニッセイ同和損保	751	700	<b>460</b>	△ 291	△ 240
当期純利益 <sup>※</sup>	2,104	2,450	<b>1,450</b>	△ 654	△ 1,000
三井住友海上	1,645	1,660	<b>1,720</b>	74	60
あいおいニッセイ同和損保	503	490	<b>300</b>	△ 203	△ 190
三井ダイレクト損保	△ 9	2	<b>2</b>	11	-
三井住友海上あいおい生命	45	30	<b>30</b>	△ 15	-
三井住友海上プライマリー生命	207	140	<b>220</b>	12	80
海外保険子会社	240	450	<b>△ 410</b>	△ 650	△ 860
その他・連結調整等	△ 529	△ 322	<b>△ 412</b>	117	△ 90
ROE(財務会計ベース)	7.8%	8.9%	<b>5.1%</b>	△ 2.7pt	△ 3.8pt

※連結の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益。子会社の当期純利益は、出資持分ベース。以下同じ。

次に、経常利益、当期純利益についてご説明します。

「資料30」をご覧下さい。

経常利益は、年初予想から 1,070億円 減益の 2,380億円、

当期純利益についても、1,000億円 減益の 1,450億円を予想しております。

- ・海外子会社のうちMS Amlinは、通期で自然災害ロス788億円(税後710億円)を見込む。また、全体のロス悪化に伴い保守的に備金を積み増し

### 正味収入保険料

(億円)

	2016年度	2017年度 (年初予想)	2017年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
海外子会社 合計	6,931	7,000	<b>6,920</b>	△ 11	△ 80
アジア	1,545	1,615	<b>1,612</b>	65	△ 3
欧州	4,931	4,888	<b>4,807</b>	△ 124	△ 82
(うちMS Amlin)	4,558	4,481	<b>4,397</b>	△ 161	△ 84
米州	454	497	<b>502</b>	47	5

### 当期純利益

(億円)

	2016年度	2017年度 (年初予想)	2017年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
海外子会社 合計	240	450	<b>△ 410</b>	△ 650	△ 860
アジア	132	133	<b>143</b>	9	10
欧州	77	291	<b>△ 577</b>	△ 654	△ 868
(うちMS Amlin)	123	301	<b>△ 550</b>	△ 673	△ 851
米州	30	26	<b>24</b>	△ 6	△ 1

※ MS Amlinの数値は、ロイズ・再保険事業統合後ベース。  
2016年度は、統合前のロイズと再保険会社の業績の単純合算値を記載。

(空白)

## 国内外の自然災害インカードロス

(億円)

	インカードロス			大口ロス 年初予想額 (参考)
	上期計上額	下期予想額	合計	
<b>&lt;国内&gt;</b>				
国内自然災害計	248	422	670	500
<b>&lt;海外&gt;</b>				
ハリケーン・ハービー	212		212	
ハリケーン・イルマ	389		389	
ハリケーン・マリア	225		225	
メキシコ地震	47		47	
カリフォルニア山火事		177	177	
北米ハリケーン等計	874	177	1,050	255
合 計	1,122	599	1,720	755
<b>&lt;参考&gt;MS Amlinの状況</b>				
北米ハリケーン等	572	166	738	
その他の自然災害(豪州サイクロン等)			50	
合計			788	225
			(税後影響 710)	

MS&amp;AD Insurance Group Holdings, Inc.

「資料32」をご覧ください。

国内外の自然災害インカードロスについて、ご説明します。

国内自然災害については、10月に発生した台風21号の損害を織り込み、年初予想から 170億円増加の 670億円を見込んでおります。

国内自然災害の増加 170億円については、

異常危険準備金の取崩で一定カバーされることから、

当期純利益への影響は約 90億円を見込んでおります。

次に、北米ハリケーン等の損害については、上期実績 874億円に加えて、

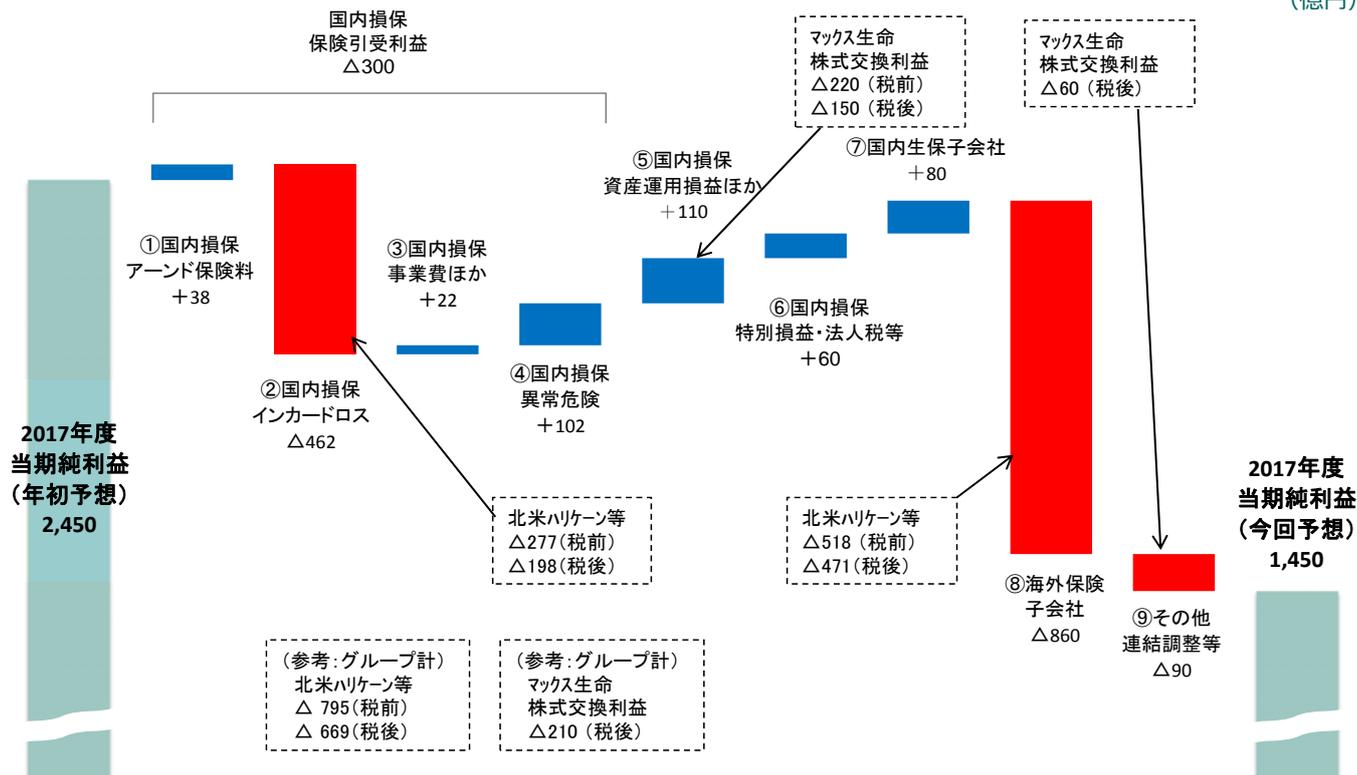
下期にカリフォルニア山火事の損害を織り込み、年間で 1,050億円を見込んでおります。

北米ハリケーン等の損害については、年初予想から、損害額で 795億円の増加、

当期純利益への影響は 670億円となり、今回、当期純利益予想を引き下げる主要因となりました。

連結純利益の年初予想比増減要因

(億円)



※ 国内損保は、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の金額の単純合計

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

「資料33」をご覧ください。このグラフで、当期純利益の増減要因について、ご説明します。

②番の「国内損保のインカードロス」については、国内自然災害の増加 170億円とAD海外受再での北米ハリケーン等の増加約 270億円を主因に、462億円の増加を見込んでおります。

④番の「異常危険準備金」については、MSで火災保険の異常危険準備金の割増繰入を廃止した影響約 80億円、および、国内自然災害の増加等による取崩の増加約 50億円を織り込んでおります。

これらを主因として保険引受利益は、年初予想から 300億円の減益を見込んでおります。

⑤番の「国内損保の資産運用損益他」は、マックス生命合併中止により株式交換利益がなくなったものの、株式市況の好調を反映して、政策株式売却益が増加したことを主因に、年初予想から 110億円の増益を見込んでおります。

⑧番の「海外保険子会社」は、MS Amlinでの減益 851億円を主因に860億円の減益を予想しております。これらの結果、通期の当期純利益は、年初予想から 1,000億円減益の1,450億円を予想しております。ここで、MS Amlinの業績について、補足させていただきます。

年初予想比 マイナス 851億円の主因は、北米ハリケーン等の損害 738億円に加え、豪州で発生したサイクロン「デビー」など大口以外の自然災害も 50億円発生しており、自然災害が合計で 788億円と、年初に想定していた大口自然災害ロスファンド 225億円を 563億円、税後影響で 510億円 上回ったことです。その他の要因は、全体のロス状況を踏まえて、保守的に備金を積み立てたこと、および、一般ロスが悪化したことによるものです。

一般ロスの悪化については、近年の自然災害リスクのソフト化影響を緩和するため、引受を拡大した一般種目の一部で損害率が上昇したことによるものです。これらについては、該当種目と原因を特定し、すでに収支改善取組に着手しており、2018年度から順次改善の効果を発揮し、2019年には本格的な改善効果を見込んでおります。

(億円)

	2016年度	2017年度 (年初予想)	2017年度(今回予想)		
				前期比	年初予想比
グループコア利益	2,137	2,300	<b>1,150</b>	△ 987	△ 1,150
国内損保事業	1,533	1,450	<b>1,490</b>	△ 43	40
国内生保事業	251	170	<b>250</b>	△ 1	80
海外事業※	346	640	<b>△ 630</b>	△ 976	△ 1,270
金融サービス事業/リスク関連事業	5	40	<b>40</b>	34	-
その他経営数値目標					
コンバインドレシオ(国内損保)	92.6%	92.9%	<b>92.6%</b>	-	△ 0.3pt
MSA生命EV増加額	1,984	500	<b>500</b>	△ 1,484	-
グループROE	7.9%	8.4%	<b>4.0%</b>	△ 3.9pt	△ 4.4pt

MS&amp;AD Insurance Group Holdings, Inc.

次にグループコア利益についてご説明します。

「資料34」をご覧ください。

グループコア利益についても、年初予想比で、国内損保事業と国内生保事業でプラスとなるものの、北米ハリケーン等の影響やマックス生命の株式交換利益がなくなったことを主因に、海外事業で大きなマイナスとなることにより、年初予想から半減の 1,150億円を予想しております。

以上、ご説明しました業績予想の主な前提については、「資料36」にまとめております。

また、MSとADそれぞれの単体、および2社の単純合算、ならびにMDとMSA生命とMSP生命の業績予想を「資料37」以降に記載しておりますので、後ほどご覧ください。

以上で、私からのご説明を終わります。

異常危険準備金

(億円)

		取崩額	繰入額	ネット繰入額		残高
					年初予想比	
三井住友海上	火災	166	97	△ 69	△ 106	1,391
	海上	5	27	22	△ 5	804
	傷害	-	46	46	0	723
	自動車	-	211	211	3	801
	その他	14	136	122	△ 8	1,902
	合計	<b>185</b>	<b>518</b>	<b>333</b>	<b>△ 116</b>	<b>5,621</b>
あいおいニッセイ 同和損保	火災	50	142	92	△ 12	1,357
	海上	-	1	1	-	140
	傷害	-	20	20	1	671
	自動車	131	219	88	18	526
	その他	2	65	63	7	704
	合計	<b>183</b>	<b>447</b>	<b>264</b>	<b>14</b>	<b>3,400</b>
2社合計 (単純合計)	火災	216	239	23	△ 118	2,749
	海上	5	28	23	△ 5	944
	傷害	-	66	66	1	1,394
	自動車	131	430	299	21	1,328
	その他	16	201	185	△ 1	2,607
	合計	<b>368</b>	<b>965</b>	<b>597</b>	<b>△ 102</b>	<b>9,022</b>

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

資料36 今回業績予想の主な前提

	三井住友海上		あいおいニッセイ同和損保		
市場環境の前提	2017年9月末の水準を想定 〔 参考(2017年9月末) 日経平均 20,356円、米ドル 113円、ユーロ 133円、英ポンド 151円 〕				
当年度発生国内自然災害	<b>410億円</b>	(+ 110億円)	<b>260億円</b>	(+ 60億円)	
異常危険準備金 (火災保険)	繰入	<b>97億円</b>	(△ 76億円)	<b>142億円</b>	(+ 1億円)
	取崩	<b>166億円</b>	(+ 31億円)	<b>50億円</b>	(+ 13億円)
	積増	<b>△ 69億円</b>	(△ 106億円)	<b>92億円</b>	(△ 12億円)
異常危険準備金 (自動車保険)	繰入	<b>211億円</b>	(+ 3億円)	<b>219億円</b>	(-)
	取崩	-	(-)	<b>131億円</b>	(△ 18億円)
	積増	<b>211億円</b>	(+ 3億円)	<b>88億円</b>	(+ 18億円)
法定実効税率	<b>28.2%</b>				

※()内は年初予想比

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 資料37 三井住友海上（単体）2017年度業績予想①

(億円)

	2016年度	2017年度 (年初予想)	2017年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
正味収入保険料	14,696	14,880	<b>14,930</b>	233	50
正味収入保険料 増収率	△2.5%	1.2%	<b>1.6%</b>	4.1pt	0.4pt
正味損害率	61.2%	60.3%	<b>60.5%</b>	△ 0.7pt	0.2pt
正味事業費率	31.2%	31.6%	<b>31.5%</b>	0.3pt	△ 0.1pt
コンバインド・レシオ	92.4%	91.9%	<b>92.0%</b>	△ 0.4pt	0.1pt
インカードロス(含む損害調査費)	8,930	8,918	<b>9,056</b>	125	138
保険引受利益	817	820	<b>810</b>	△ 7	△ 10
資産運用損益	1,394	1,476	<b>1,552</b>	158	77
経常利益	2,155	2,250	<b>2,300</b>	144	50
特別損益	△ 70	△ 27	<b>9</b>	80	36
当期純利益	1,645	1,660	<b>1,720</b>	74	60

<除く家計地震・自賠責>

正味収入保険料 増収率	△2.9%	1.7%	<b>2.0%</b>	4.9pt	0.3pt
正味損害率	58.0%	57.2%	<b>57.6%</b>	△ 0.4pt	0.4pt
正味事業費率	33.2%	33.5%	<b>33.4%</b>	0.2pt	△ 0.1pt
コンバインド・レシオ	91.2%	90.7%	<b>91.0%</b>	△ 0.2pt	0.3pt
インカードロス(含む損害調査費)	7,384	7,410	<b>7,562</b>	176	151

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※「正味損害率」は「リターン・ペイド」ベース

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 資料38 三井住友海上（単体）2017年度業績予想②

### 正味収入保険料

(億円)

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			増収率
火災	1,838	<b>1,932</b>	5.1%
海上	586	<b>577</b>	△1.6%
傷害	1,435	<b>1,457</b>	1.5%
自動車	6,541	<b>6,600</b>	0.9%
自賠責	1,868	<b>1,842</b>	△1.4%
その他	2,425	<b>2,521</b>	3.9%
合計	14,696	<b>14,930</b>	1.6%
除く家計地震・自賠責	12,820	<b>13,082</b>	2.0%

### 正味損害率

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
火災	72.0%	<b>67.3%</b>	△ 4.7pt
海上	61.3%	<b>62.5%</b>	1.2pt
傷害	54.3%	<b>52.7%</b>	△ 1.6pt
自動車	57.3%	<b>58.6%</b>	1.3pt
自賠責	80.3%	<b>81.4%</b>	1.1pt
その他	52.9%	<b>48.9%</b>	△ 4.0pt
合計	61.2%	<b>60.5%</b>	△ 0.7pt
除く家計地震・自賠責	58.0%	<b>57.6%</b>	△ 0.4pt

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

### インカードロス(除く家計地震・自賠責)

(億円)

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
インカードロス(含む損害調査費) <sup>※1</sup>	7,384	<b>7,562</b>	176
自然災害 <sup>※2</sup>	343	<b>420</b>	76
自然災害以外	7,041	<b>7,141</b>	99

※1 インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額

※2 「自然災害」は、当年度発生国内自然災害および北米ハリケーン等の金額

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 資料39 三井住友海上（単体）2017年度業績予想③

### 社費・手数料

(億円)

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
保険引受社費	2,066	2,128	61
損害調査費	878	885	6
その他	109	115	5
社費合計	3,054	3,129	74
人件費	1,677	1,697	20
物件費	1,252	1,306	53
税金・拠出金等	124	125	0
諸手数料及び集金費	2,517	2,572	54

### 事業費率

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
正味手数料率	17.1%	17.2%	0.1pt
正味社費率	14.1%	14.3%	0.2pt
正味事業費率	31.2%	31.5%	0.3pt
除く家計地震・自賠責	33.2%	33.4%	0.2pt

### 資産運用損益の概要

(億円)

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
利息及び配当金収入	1,167	1,030	△138
積立保険料等運用益振替	△355	△320	35
ネット利息及び配当金収入	812	710	△102
有価証券売却損益	672	878	205
有価証券評価損	△4	△10	△4
その他(含む投資経費)	△86	△26	60
資産運用損益	1,394	1,552	158

### 利息及び配当金収入の主な内訳

(億円)

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
公社債	194	188	△7
株式	435	431	△4
外国証券	380	257	△122
その他有価証券	32	39	7
貸付金等	125	114	△11
合計	1,167	1,030	△138

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 資料40 あいおいニッセイ同和損保（単体）2017年度業績予想①

(億円)

	2016年度	2017年度 (年初予想)	2017年度(今回予想)		
				前期比	年初予想比
正味収入保険料	12,005	12,190	<b>12,220</b>	214	30
正味収入保険料 増収率	0.7%	1.5%	<b>1.8%</b>	1.1pt	0.3pt
正味損害率	59.1%	60.2%	<b>59.7%</b>	0.6pt	△0.5pt
正味事業費率	33.5%	33.7%	<b>33.7%</b>	0.2pt	0.0pt
コンバインド・レシオ	92.6%	93.9%	<b>93.4%</b>	0.8pt	△0.5pt
インカードロス(含む損害調査費)	7,246	7,402	<b>7,678</b>	431	276
保険引受利益	395	410	<b>120</b>	△275	△290
資産運用損益	322	280	<b>320</b>	△2	40
経常利益	751	700	<b>460</b>	△291	△240
特別損益	△83	△37	<b>△67</b>	16	△30
当期純利益	503	490	<b>300</b>	△203	△190

<除く家計地震・自賠責>

正味収入保険料 増収率	1.0%	2.2%	<b>2.4%</b>	1.4pt	0.2pt
正味損害率	55.6%	57.0%	<b>56.8%</b>	1.2pt	△0.2pt
正味事業費率	35.2%	35.4%	<b>35.4%</b>	0.2pt	0.0pt
コンバインド・レシオ	90.8%	92.4%	<b>92.2%</b>	1.4pt	△0.2pt
インカードロス(含む損害調査費)	5,910	6,074	<b>6,382</b>	471	308

※「正味損害率」は「リターン・ペイド」ベース

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 資料41 あいおいニッセイ同和損保（単体）2017年度業績予想②

### 正味収入保険料

(億円)

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			増収率
火災	1,530	1,719	12.3%
海上	54	75	37.2%
傷害	614	615	0.2%
自動車	6,804	6,832	0.4%
自賠償	1,687	1,659	△1.7%
その他	1,313	1,320	0.5%
合計	12,005	12,220	1.8%
除く家計地震・自賠償	10,312	10,557	2.4%

### 正味損害率

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
火災	56.2%	61.7%	5.5pt
海上	48.0%	48.0%	0.0pt
傷害	48.6%	47.3%	△1.3pt
自動車	56.8%	58.4%	1.6pt
自賠償	77.9%	78.1%	0.2pt
その他	55.6%	47.0%	△8.6pt
合計	59.1%	59.7%	0.6pt
除く家計地震・自賠償	55.6%	56.8%	1.2pt

### インカードロス(除く家計地震・自賠償)

(億円)

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
インカードロス(含む損害調査費) <sup>※1</sup>	5,910	6,382	471
自然災害 <sup>※2</sup>	167	557	389
自然災害以外	5,742	5,825	82

※1 インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※2「自然災害」は、当年度発生国内自然災害および北米ハリケーン等の金額

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

## 資料42 あいおいニッセイ同和損保（単体）2017年度業績予想③

### 社費・手数料

(億円)

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
保険引受社費	1,783	1,760	△23
損害調査費	608	608	△0
その他	85	101	15
社費合計	2,476	2,469	△7
人件費	1,236	1,278	41
物件費	1,130	1,078	△52
税金・拠出金等	109	113	3
諸手数料及び集金費	2,238	2,353	114

### 事業費率

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
正味手数料率	18.6%	19.3%	0.7pt
正味社費率	14.9%	14.4%	△0.5pt
正味事業費率	33.5%	33.7%	0.2pt
除く家計地震・自賠償	35.2%	35.4%	0.2pt

### 資産運用損益の概要

(億円)

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
利息及び配当金収入	554	542	△12
積立保険料等運用益振替	△173	△172	1
ネット利息及び配当金収入	380	370	△10
有価証券売却損益	90	69	△21
有価証券評価損	△49	△15	34
その他(含む投資経費)	△99	△104	△4
資産運用損益	322	320	△2

### 利息及び配当金収入の主な内訳

(億円)

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
公社債	99	98	△1
株式	176	184	7
外国証券	177	168	△9
その他有価証券	25	18	△7
貸付金等	75	74	△1
合計	554	542	△12

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

資料43 三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）2017年度業績予想①

(億円)

	2016年度	2017年度 (年初予想)	2017年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
正味収入保険料	26,702	27,070	<b>27,150</b>	447	80
正味収入保険料 増収率	Δ1.1%	1.4%	<b>1.7%</b>	2.8pt	0.3pt
正味損害率	60.2%	60.2%	<b>60.1%</b>	Δ 0.1pt	Δ 0.1pt
正味事業費率	32.2%	32.5%	<b>32.5%</b>	0.3pt	0.0pt
コンバインド・レシオ	92.4%	92.7%	<b>92.6%</b>	0.2pt	Δ 0.1pt
インカードロス(含む損害調査費)	16,176	16,320	<b>16,734</b>	557	414
保険引受利益	1,213	1,230	<b>930</b>	Δ 283	Δ 300
資産運用損益	1,716	1,756	<b>1,872</b>	155	116
経常利益	2,907	2,950	<b>2,760</b>	Δ 147	Δ 190
特別損益	Δ 154	Δ 64	<b>Δ 58</b>	96	5
当期純利益	2,149	2,150	<b>2,020</b>	Δ 129	Δ 130

<除く家計地震・自賠償>

正味収入保険料 増収率	Δ1.2%	1.9%	<b>2.2%</b>	3.4pt	0.3pt
正味損害率	56.9%	57.1%	<b>57.2%</b>	0.3pt	0.1pt
正味事業費率	34.1%	34.3%	<b>34.3%</b>	0.2pt	0.0pt
コンバインド・レシオ	91.0%	91.4%	<b>91.5%</b>	0.5pt	0.1pt
インカードロス(含む損害調査費)	13,295	13,484	<b>13,944</b>	647	459

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース  
 ※「正味損害率」は「リターン・ペイド」ベース

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

資料44 三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）2017年度業績予想②

正味収入保険料

(億円)

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			増収率
火災	3,369	<b>3,651</b>	8.4%
海上	641	<b>652</b>	1.7%
傷害	2,049	<b>2,072</b>	1.1%
自動車	13,346	<b>13,432</b>	0.6%
自賠償	3,556	<b>3,501</b>	Δ1.5%
その他	3,739	<b>3,841</b>	2.7%
合計	26,702	<b>27,150</b>	1.7%
除く家計地震・自賠償	23,132	<b>23,639</b>	2.2%

正味損害率

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
火災	64.8%	<b>64.7%</b>	Δ 0.1pt
海上	60.1%	<b>60.9%</b>	0.8pt
傷害	52.6%	<b>51.1%</b>	Δ 1.5pt
自動車	57.0%	<b>58.5%</b>	1.5pt
自賠償	79.1%	<b>79.8%</b>	0.7pt
その他	53.8%	<b>48.2%</b>	Δ 5.6pt
合計	60.2%	<b>60.1%</b>	Δ 0.1pt
除く家計地震・自賠償	56.9%	<b>57.2%</b>	0.3pt

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

インカードロス(除く家計地震・自賠償)

(億円)

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
インカードロス(含む損害調査費) <sup>※1</sup>	13,295	<b>13,944</b>	647
自然災害 <sup>※2</sup>	510	<b>977</b>	466
自然災害以外	12,784	<b>12,966</b>	181

※1 インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額  
 ※2「自然災害」は、当年度発生国内自然災害および北米ハリケーン等の金額

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

資料45 三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保(単体単純合算) 2017年度業績予想③

社費・手数料

(億円)

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
保険引受社費	3,849	3,888	38
損害調査費	1,486	1,493	6
その他	194	216	21
社費合計	5,531	5,598	66
人件費	2,913	2,975	61
物件費	2,383	2,384	0
税金・拠出金等	233	238	4
諸手数料及び集金費	4,755	4,925	168

事業費率

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
正味手数料率	17.8%	18.1%	0.3pt
正味社費率	14.4%	14.3%	△0.1pt
正味事業費率	32.2%	32.5%	0.3pt
除く家計地震・自賠責	34.1%	34.3%	0.2pt

資産運用損益の概要

(億円)

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
利息及び配当金収入	1,722	1,572	△150
積立保険料等運用益振替	△528	△492	36
ネット利息及び配当金収入	1,193	1,080	△113
有価証券売却損益	763	947	183
有価証券評価損	△54	△25	29
その他(含む投資経費)	△185	△130	55
資産運用損益	1,716	1,872	155

利息及び配当金収入の主な内訳

(億円)

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
公社債	294	286	△8
株式	612	615	3
外国証券	557	425	△131
その他有価証券	57	57	△0
貸付金等	200	188	△12
合計	1,722	1,572	△150

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

資料46 三井ダイレクト損保 2017年度業績予想

主要項目

(億円)

	2016年度	2017年度(今回予想)	
			前期比
正味収入保険料	376	380	3
正味収入保険料 増収率	3.0%	1.0%	△2.0pt
経常利益	△9	4	13
当期純利益(当社持分)	△9	2	11

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

資料47 三井住友海上あいおい生命 2017年度業績予想

主要項目

(億円)

	2016年度	2017年度 (今回予想)	
			増減率/前期比
新契約高*	23,771	25,396	6.8%
新契約年換算保険料*	517	388	△25.0%
保有契約高*	232,142	237,011	2.1%
保有契約年換算保険料*	4,010	4,118	2.7%
保険料(グロス収入保険料)	4,789	4,910	120
経常利益	161	129	△33
当期純利益	45	30	△15

※新契約高、新契約年換算保険料、保有契約高、保有契約年換算保険料は、個人保険・個人年金保険の合計

資料48 三井住友海上プライマリー生命 2017年度業績予想

主要項目

(億円)

	2016年度	2017年度 (今回予想)	
			増減率/前期比
新契約高	10,322	9,019	△ 12.6%
保有契約高	56,807	62,600	10.2%
保険料(グロス収入保険料)	10,711	9,000	△ 1,711
経常利益	576	444	△ 132
当期純利益	207	220	12

## 「グループコア利益」の定義

グループコア利益 = 連結当期利益 - 株式キャピタル損益（売却損益等） - クレジットデリバティブ評価損益 - その他特殊要因  
+ 非連結グループ会社持分利益

グループROE = グループコア利益 ÷ 連結純資産（期初・期末平均、除く新株予約権・非支配株主持分）

## 予想および見通しに関する注意事項

この資料に記載されている内容のうち、MS & ADホールディングスならびにグループ各社の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しは、現時点で把握できる情報から得られた当社グループの判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しと異なる結果になり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。実際の業績に影響を及ぼし得る要因としては、(1)事業を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などがあります。

### お問い合わせ先

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社  
広報・IR部

TEL: 03-5117-0311

URL: <http://www.ms-ad-hd.com/contact/index.html>